

にいがた県民教育研究所活動日誌

<p>1979 9/23</p> <p>10/3</p> <p>12/1</p> <p>1980 1/14</p> <p>1981 7/26</p> <p>8/11</p> <p>10/24</p> <p>1983 5/15</p> <p>6/26</p> <p>7/1</p> <p>4</p> <p>10</p> <p>15</p> <p>8/1</p> <p>5</p> <p>6</p>	<p>〔設立準備期〕</p> <p>国際児童「新潟懇話会」主催の「新潟の子どもの現実と教育・環境を語る」シンポジウム開催。 (新潟大学医学部第一講義室)</p> <p>保育園・幼稚園・小・中・高校・大学の教員や医師・弁護士・市民等100人</p> <p>I. 現場からの報告</p> <p>①「保育の中の体づくり」(須貝叙子) ②「地域・父母と学校が一つになって」(木村隆利)</p> <p>③「職業高校の現状と課題」(本田敏彦)</p> <p>II. 学者文化人からの報告</p> <p>①「教師になる学生に望む」(是沢三郎)</p> <p>②「自然生態と技術教育」(長崎明)</p> <p>③「障害児の早期発見と早期教育」(林万り)</p> <p>III. 教育・環境に関する補足報告と討論</p> <p>①「水の事故から子どもを守る」(足立定夫)</p> <p>②「私学の現状と課題」(本間藤四郎)</p> <p>③「受験校における真の学力」(八木三男)</p> <p>※集会の記録は『保育からキャンパスまで—今教育の現場で』新潟日報事業社刊(1981.7.5)</p> <p>・研究所設立について話し合い—第1回—(新潟会館)</p> <p>・国際児童「新潟教育懇話会」発足<代表委員></p> <p>・是沢三郎(新潟大学教育学部長)・霜鳥誠一(新潟短期大学学長)・長崎 明(新潟大学農学部教授)・木村隆利(新潟県教育研究協議会会長)・本田敏彦(同事務局長)</p> <p>・「国際児童新潟アピール」発表</p> <p>・教育研究所設立準備会(シルバーホテル)(長崎明・是沢三郎・八木三男・本田敏彦・木村隆利)</p> <p>・研究所設立準備会議</p> <p>*以下、1983年6月、研究所開設準備会ができるまで、10数回の設立準備会を開催</p> <p>・研究所設立呼びかけ人会議(ニュー越路)(木村隆利・是沢三郎・斎藤貴子・高橋作衛・長崎明・坂東克彦・本田敏彦・八木三男)</p> <p>・八木、大槻健、研究所創設について懇談(東京)</p> <p>・研究所開設準備会(新潟市教組会館)</p> <p>①設立準備委員会選出</p> <p>②常任準備委員を選出</p> <p>③仮事務所を「私教連」に置く</p> <p>・第1回設立準備常任委員会</p> <p>◇当面の活動計画作成</p> <p><準備会役員></p> <p>代表 長崎 明</p> <p>副代表 八木三男</p> <p>常任委員 本間藤四郎、若月又次郎、沼波貞夫、吉田三男、宮本敏、首藤隆司</p> <p>事務局長 木村隆利</p> <p>事務局員 三ツ井富士夫、佐藤 賢</p> <p>・事務局活動開始</p> <p>・埼玉県浦和市で川合章、大沢勝也、本間繁輝、研究所設立問題について懇談会(八木・木村)</p> <p>・~22、県内各地域の教員に、研究所設立にあたって「あなたへのお願い」・「地域説明会実施」の文書発送</p> <p>・第2回常任委員会</p> <p>①準備会の活動報告</p> <p>②「校内暴力・非行問題シンポ」の計画</p> <p>③「新潟の教育情報」(創刊号)の編集等</p> <p>・上越地域、設立説明会(木村・佐藤)</p> <p>・「新潟県の暴力・非行を考える」シンポジウム<報告者></p> <p>上杉 俊孝(中学校)、三条美恵子(保母)</p> <p>松井 良枝(小学校)、小島 寿夫(高校)</p>	<p>1983 8/</p> <p>12</p> <p>29</p> <p>29</p> <p>9/4</p> <p>7</p> <p>11</p> <p>23</p> <p>25</p> <p>10/22</p> <p>23</p> <p>26</p> <p>12/19</p> <p>11/23</p> <p>12/19</p> <p>9</p> <p>1984 1/14</p> <p>18</p> <p>19</p> <p>~22</p> <p>2/23</p> <p>26</p> <p>3/10</p> <p>4/1</p> <p>3</p> <p>5</p> <p>22</p> <p>26</p>	<p>「危機状況打開へ『民間教育研究所』校内暴力に象徴される教育の荒廃をどう救う—民間教育研究所設立へ立ち上がった『資料を収集し公開』県内有志が設立準備会」(『新潟日報』報道)</p> <p>・長岡地域説明会(八木、佐藤)</p> <p>・南魚沼地域説明会(八木、佐藤)</p> <p>・第3回常任委員会</p> <p>「よびかけ文」・「趣意書」の検討</p> <p>・岩船地域説明会(八木、木村、佐藤)</p> <p>・豊栄地域説明会(木村・佐藤)</p> <p>・「荒れる中学生」座談会(ニュー越路)司会 木村隆利</p> <p>三条美恵子(保母)、松井良枝(小学校)上杉俊孝(中学校)、荒木一貞(中学校)丸山正寿(中学校)、小島寿夫(高校)</p> <p>(『新潟の教育情報』創刊号掲載)</p> <p>・第4回常任委員会</p> <p>①研究所の名称「にいがた県民教育研究所」案</p> <p>②機関誌『新潟の教育情報』案</p> <p>③準備会の組織体制、役割分担検討</p> <p>・第1回生活指導研究会(ニュー越路)長崎、本田、木村、佐藤、丸山、沼波、荒木、市川、富樫、広川(出席)</p> <p>・第5回常任委員会</p> <p>①「趣意書」の最終検討</p> <p>②『新潟の教育情報』2号の編集、発行について</p> <p>③会員組織の推進について</p> <p>④学者・研究者への要請について</p> <p>・長岡地域説明会(木村)</p> <p>・三条地域説明会(木村、佐藤)</p> <p>・第6回常任委員会</p> <p>・『新潟の教育情報』創刊号発刊(1000部)</p> <p>・創刊号『新潟の教育情報』を持って次のところを訪問</p> <p>①県教育委員会 ②県立図書館長 ③家庭裁判所</p> <p>④新潟少年鑑別所 ⑤児童相談所 ⑥新潟県教職員組合 ⑦新潟県高等学校教職員組合⑧新潟市教職員組合 ⑨新潟私教連</p> <p>・~15 第2回生活指導研究会</p> <p>・第7回常任委員会①活動報告 ②会員加入126名 ③特別会員の組織について ④機関誌の編集について</p> <p>・「新潟日報」、「現場」の荒廃にそって『新潟の教育情報』創刊、「ほや座談会特集—非行防止の記録も一紹介」を報道</p> <p>・「朝日新聞」が「『県民ぐるみで教育を』」足がかりに研究所—新大の長崎氏ら有志—62年開設へ準備活発化」報道</p> <p>・18日の新聞報道で、県内の27人から、『新潟の教育情報』の申込みや研究所について問い合わせ喪電話・書簡が届く</p> <p>・設立呼びかけ人会議、「呼びかけ文」の検討</p> <p>・第1回「子どもの心とからだ」研究部会(ニュー越路)</p> <p>・第8回常任委員会(会員加入152名)</p> <p>①現事務所3F(二坪)に事務所を置くことに決定 ②事務所設置に伴う設備費の特別寄付の要請について検討</p> <p>・第1回「教育と人権」研究部会(中央法律事務所)</p> <p>・にいがた県民教育研究所事務所新潟市東中通1-86「山崎ビル」に、仮事務所から移転</p> <p>・「研究所通信」第1号発行</p> <p>・第1回『新潟の教育情報』編集委員会</p> <p>・第9回常任委員会(会員加入174名)</p> <p>・「私たちのぞむ教育改革」について新教組北新支部、教育研究所と懇談</p>
---	--	--	---

1984	28	・第2回「子どもの心と身体」研究会	1985	3/ 3	・研究所主催、第1回教育セミナー 講師 川合 章(埼玉大学)
	5/11	・上越教育研究会、設立説明会(沼波・木村)		29	・上越、長浜地区教育懇談会(木村・佐藤)
	26	・第10回常任委員会		4/ 4	・干溝「自主学校」入学式・始業式 研究所の若月所員が自主学校の教頭に、小熊所員と小林吉和、茂川ハル子会員が自主学校の教員として就任
	6/ 1	・『新潟の教育情報』第2号(1,500部)発行		27	・第2回理事会(ニュー路)
	3	・第1回設立準備委員会(会員207名) ―「準備委員会」の任務と活動について―		5/ 3	・魚沼地域設立説明会(木村)
	16	・第2回「教育と人権」研究会		15	・新潟市石山地区教育懇談会(木村)
	30	・第3回「心と身体」研究会		18	・東蒲原地区教育懇談会(木村)
	7/14	・第11回常任委員会 1. 編集委員会の組織について 2. 研究部会の開催とその内容について ①「人権と教育」研究会 ②「子どもの心とからだ」研究会 ③「生活指導」研究会 ④「授業研究」研究会の準備活動		24	・六日町地区設立説明会(八木、村)
	15	・第2回設立準備委員会(会員加入212名)		6/ 8	・聖籠町調査で役場訪問(長崎、小林、小熊、木村、佐藤)
	25	・干溝小学校統廃合問題について、地元住民と弁護団・教育研究所との懇談(木村、若月)		9	・第2回教育セミナー「人間的自立と連帯を育てる教育」講師 斎藤浩志(神戸大学)
	8/ 5	・「研究所通信」第2号発行		15	・編集委員会
	8	・干溝小統廃合第1回現地調査(木村、若月)		22	・第1回「学閥」研究会
	19	・『新潟県のいじめ白書』フルット作成委員会(阿部、沼波、須田、本田、木村、若月、佐藤)		28	・聖籠町調査検討会(新大、物理学演習室) 「聖籠町調査のこれからについて」
	24	・新潟市大江山地区の地域調査で地元住民と懇談 ・「新潟県の学校を考える」座談会 ―佐藤郁子、佐藤勝、長谷川正也、本田敏彦、阿部好策―(『新潟の教育情報』第4号)		29	・新潟・内野地区教育懇談会(木村)
	25	・小出地区設立説明会(木村)		7/10	・聖籠町「亀塚集落」調査(木村、若月)
	9/ 1	・『新潟の教育情報』第3号発行		20	・第2回「学閥」研究会
	2	・第2回干溝小統廃合問題現地調査(長崎、木村、若月)		21	・第3回「教育と人権」研究会
	8	・第1回編集委員会 編集長 若月又次郎 委員 磯野修二、片岡 弘、木村隆利、佐藤賢、須田一彦、高橋 坦、本田敏彦、山崎徹		8/ 3	・第3回常任理事会
	9	・第12回常任委員会		4	・編集委員会
	15	・第3回設立準備委員会		26	・聖籠町現地調査(長崎、木村)
	18	・第3回干溝小統廃合、現地調査(木村、若月)		28	・第3回「学閥」研究会
	23	・「県自治体問題研究所」設立準備会参加(木村、佐藤)		31	・第3回理事会
	10/1	・能生町立能生中学校訪問(沼波、深沢、事務局3人)		9/ 4	・豊栄地区教育懇談・設立説明会(木村、佐藤)
	6	・第4回「心とからだ」研究会		6	・会計監査
	12	・6~7 第4回干溝問題調査活動(若月、佐藤) ・規約草案等検討会議(長崎、八木、足立、事務局3人)		8	・第3回教育セミナー「自然、人間、社会認識を育てる教育実践」講師 志摩陽伍(東洋大学)
	22	・~23干溝問題第1回調査報告会(木村、佐藤)		9	・寺泊中学校統廃合問題調査(佐藤)
	24	・「全国地域民教新潟集會」シブシブ関係者会議(足立、阿部、八木、木村)		13	・聖籠町調査検討会(新大、物理学演習室)
	27	・「研究所通信」第3号発行		9/15	― 研究所第2回総会 ― (ホテル湖畔) 公開記念講演会 久富 善之(埼玉大学) ・活動、決算、監査報告 活動、予算方針 ・地域(地区)教育懇談会の開催推進 ・理事の構成について *会員数359名
	11/8	・第13回常任委員会		22	・第4回「学閥」研究会
	18	・第4回設立準備委員会(会員289名)		10/3	・第4回「教育と人権」部会
	23	・~25 地域民教全国交流新潟集會 「地域から日本の教育を考える」シブシブはがね 阿部、足立、木村、八木が出演、「にいがた県民教育研究所」設立の意義も報告		6	・第1回課外体育研究会
	12/1	・「新潟県の教師に期待するもの」座談会 ―小熊隆・吉田三男・長谷川周壽・駒野輝次・坂下邦彦―(『新潟の教育情報』第5号)		12	・第1回理事会―会員加入者数387名―
	12/2	・『新潟の教育情報』第4号発行 ― にいがた県民教育研究所設立総会 ― 記念講演 大田 堯(東京大学) 会長 長崎明、副会長 八木三男、坂東克彦 常任理事 13名、理事 23名、監事 2名 選出事務局長 木村隆利、事務局次長 佐藤賢 編集委員長 若月又次郎		17	・「授業づくり」研究会公開授業(越路小学校、高橋坦)
	9	・第5回干溝問題現地調査		19	・聖籠町現地調査(大学から7名、事務局2名)
	23	・第1回常任理事会		20	・第1回「くらし・健康・子育て」部会 (「心とからだ」研究会改組)
1985	1/26	・現地で干溝調査報告会(木村、若月)		26	・聖籠町調査研究会(新潟大学)
	2/ 2	・~3干溝問題調査現地報告会(木村、若月)		11/9	・「いじめ・体罰」シンポジウム(中央公民館) <パネラー> ・高橋武昌、上杉俊孝、足立定夫、深沢広明、他
	9	・第2回常任理事会		13	・聖籠町集落訪問(木村、若月)
	16	・第1回「授業づくり」研究部会		15	・「研究所通信」第6号発行
				12/1	・第4回教育セミナー「学童保育運動の発展をめざして」講師 大塚達男(学童保育全国会長)
				7	・第5回「学閥」研究会
				8	・第5回「教育と人権」部会
				9	・第2回「くらし・健康・子育て」部会
				11	・三条地区教育懇談会(木村、佐藤)
				12	・聖籠町調査研究会(新潟大学)
				13	・白根地区教育懇談会(木村)
				14	・第2回「授業づくり」研究部会
				17	・研究所「いじめ」問題学習会
				18	・新津地区教育懇談会(若月、佐藤)
				21	・新発田地区教育懇談会(木村、若月)
				26	・第2回常任理事会
				27	・村上地区会員忘年会(八木、片岡、木村)
					・第6回「教育と人権」部会

1986	1/14	・「聖籠町農業の現状とこれからについて」の学 集會(新発田総合庁舎職員組合主催) 講師 長嶋 明	1987	3/29	・「長岡会員の集い」
	16	・聖籠町調査団と同町教員との交流懇談会		4/ 1	・編集部研修(東京・桐書房)
	18	・第8回「授業づくり」研究部会		15	・『新潟の教育情報』第13号発行
	22	・聖籠町調査団研究会(新潟大学)		5/ 5	・「研究所通信」第14号発行
	2/ 1	・編集委員会		9	・座談会「子どもは、学校は、教師はどうなっ ているか」『にいがたの教育情報』第15号掲載
	6	・第7回「教育と人権」部会		17	・日本科学者会議新潟支部総会に研究所支部とし て参加
	8	・第3回常任理事会		21	・新潟市内女性会員の集い
	10	・石山地区教育懇談会(木村)		23	・第11回「授業づくり」研究部会
	22	・真砂地区教育懇談会(木村)		6/13	・第12回「授業づくり」研究部会
	23	・第3回「くらし・健康・子育て」研究会		17	・新発田会員の集い
	26	・第9回「授業づくり」研究部会		29	・『にいがたの教育情報』第14号発行
	3/12	・第6回「学閥」研究会		//	・研究所主催、シンポジウム「学校・父母・地域 が結ぶ子育て教育」(長岡)
	4/ 5	・事務職員、竹内貴美初出勤		7/ 4	・第13回「授業づくり」研究部会
	6	・佐藤、竹内両事務職員の歓迎送会		5	・第2回理事会
	17	・『新潟の教育情報』第9号発行		8/ 7	・「臨教審反対の声明」、記者会見 (研究所、科学者会議新潟支部)
	//	・研究所「生活指導」研究会		26	・第14回「授業づくり」研究部会
	23	・公民館利用者団体総会(竹内)		29	・地域教育懇談会交流会(公民館)
	//	・聖籠町調査報告会(新大、教育学部)		9/ 7	・『にいがたの教育情報』第15号発行
	24	・第8回「教育と人権」研究部会		9/13	— 第4回懇談会 —
	27	・第2回理事会			①教訓と課題・「調査・研究活動」・決算・会計 監査報告等
	5/ 7	・聖籠町調査打ち合わせ会(新大、教育学部)			②1987年度研究所活動計画・情報の発行
	11	・第4回「くらし・健康・子育て」研究部会			③1987年度予算
	16	・第7回「学閥」研究会			④規約の改正・理事の構成等
	19	・財政の危機対策担当者会議(財政委員会)			*会員数、正会員461名・準会員66名・特別会員 12 計539名
	19	・聖籠町調査研究会(新潟大学)			— シンポジウム『臨教審』と新潟県教育 —
	7	・第5回教育セミナー「臨教審答申で子どもは 生き生きするか」講師、大槻健(早稲田大学)		19	・第13回「授業づくり」研究部会
	15	・第4回常任理事会		22	・「臨教審」学習会
	16	・『新潟の教育情報』第10号発行		10/1	・第2回「臨教審」研究チーム総会
	26	・「研究所通信」第10号発行		//	・竹内事務員の産代、塩谷玖美子就任'88.1まで
	//	・第9回「教育と人権」研究部会		7	・「研究所通信」第16号発行
	28	・第8回「学閥」研究会		17	・第2回理事会
	7/11	・第10回「授業づくり」研究部会(松代町)		31	・「初任者研」研究チーム打ち合わせ会
	14	・聖籠町研究会(現地)		11/	
	16	・第10回「教育と人権」研究部会		28	・第14回「授業づくり」研究部会
	20	・第5回「くらし・健康・子育て」研究会		29	・科学者会議新潟支部「教育」シンポジウム
	8/ 2	・第5回常任理事会		12/5	・第7回「くらし・健康・子育て」部会
	25	・大江山調査実行委員会		1/17	・『にいがたの教育情報』第16号発行
	9/ 1	・会計監査		19	・「臨教審」研究第2部会
	6	・佐渡地区教育懇談会(八木、小熊、竹内)		22	・「子育て・くらし」アンケート調査まとめ、市 民病院会員の会
	14	— 第3回懇談会 — 記念講演 講師 堀尾輝久	1988	30	・第15回「授業づくり」研究部会(湯沢中で授 業研究)
		①「活動」「決算」、監査報告		2/ 5	・第15回「授業づくり」研究部会
		②・1985年度の教訓と課題・活動計画		6	・「臨教審」研究第5部会
		③予算・運営基金制度		//	・「臨教審」研究第4部会
		④規約、慶弔規定一部改正		20	~21年研究所第2回研究集会 テーマ『新潟における地域と教育』臨教審状況 の中で
		*会員数 正会員422名、準会員48名、 特別会員7団体 計422名			◇基調報告 八木副会長 ◇報告者 西山文四郎、木村隆利、高橋武昌 渡辺しき子、山崎 徹、阿部好策
	27	・藤寄(聖籠町)生活意識調査(木村、若月)		3/ 5	・第16回「授業づくり」研究部会
	//	・第9回「学閥」研究会		22	・「臨教審」研究第5部会
	10/8	・第11回「教育と人権」研究会		27	・「子どものためにこそ教育はある」
	10	・第6回「くらし・健康・子育て」研究会		31	—若い教師の生き生き座談会—(ニュー越路)
	12	・第1回理事会		4/ 3	・『にいがたの教育情報』第17号発行
	19	・第6回教育セミナー「人間らしい子どもの心と 身体の発達を求めて」講師、円田善英 (日本体育大)		//	・第1回常任理事会(中央公民館)
	11/			9	・加茂市会員の集い
	15	・「研究所通信」第11号発行		23	・柏崎会員の集い
	20	・『新潟の教育情報』第12号発行		5/8	・第4回理事会(新潟市教組)
	12/9	・「研究所通信」第12号発行		16	・「研究所通信」第19号発行
	14	・拡大理事会—鮭料理を食べる会—(村上)		21	・第17回「授業づくり」研究部会
	21	・第7回教育セミナー「地域から教師は何を学ぶ か」講師、福島達夫(日本福祉大学)		//	・第8回「くらし・健康・子育て」部会
1987	2/21	・~22 研究所第1回研究集会 テーマ—新潟県における地域と教育— ◇基調「県民教育研究所と地域」八木副会長 ◇研究・実践報告 足立定夫、丸山初代、佐藤一 弥、長井芳朗、黒川勝巳 ◇記念講演 「子育て協同組合論」 講師、藤岡貞彦(一橋大学)		28	・第11回「学閥」問題研究会
	28	・第10回「学閥」研究会		6/ 5	・~6 「地方自治体と学校の教育財政」講座 講師 三輪 定直(千葉大学)
	3/17	・八木副会長、東京大学堀尾研究室へ(送別会)			